



ヒライ流 ・ デジタル パーチャル 出爺多留で娯茶流な世界 シリーズ⑦

前号の「笑いの笑辞典」の第2弾です。笑いをまじめに論じるのもおかしいが、ご笑覧あれ！

笑いの笑辞典 第2笑 笑いの笑論法（笑いの笑扱）

2-1 笑いの定義 笑いの三大理論（笑いはなぜ起こるか）

笑いの優越理論 自分の方が上と感じたときほほ笑む

他人の欠点や失敗などから、自分の方が上と感じるときに笑うという考え
ある人が何か滑稽な行動を起したとして、それを見た人が「私はそんなことは絶対しない」とあざけ笑う、またその瞬間に感じる「優越感」が笑いの正体。

例：雪の日に滑って転んだ。起き上がって、二歩行ったところでまた転んだ。
「こんなことなら、はじめから起きるんじゃないか・・・」

笑いのズレの理論 期待と現実のずれが笑いのもと

人は、無意識的に「これはこういうものだ」と予測して行動しています。
この予測が外れたときのズレ（不一致）が笑いのもとである

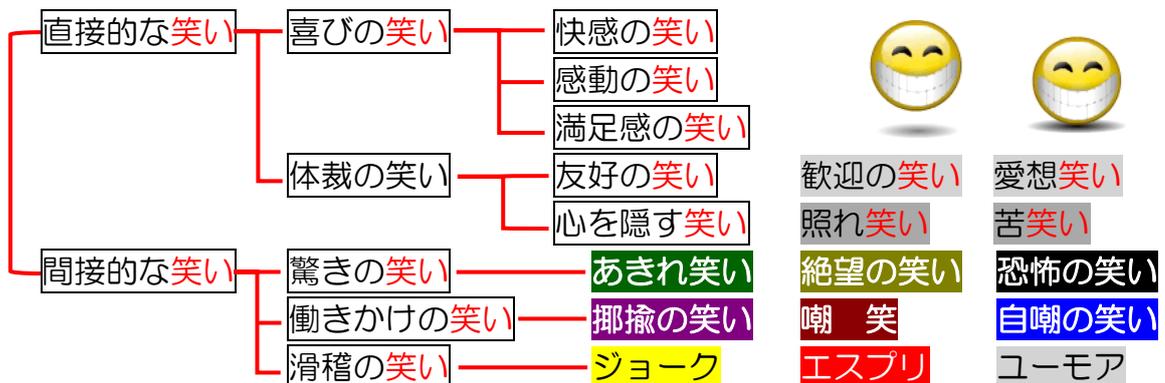
例：いろんなエステが大流行。老廃物を取り除くエステに行ったお婆さん・・・
老廃物を取ったら溶けてなくなっちゃった・・・？！

笑いの放出理論 緊張から外されたとき思わず笑う

「緊張と緩和」をうまく使うことで、人の高まった力が抜けた瞬間、また逆もしかりで、その力が変化した瞬間に笑いが生まれる

例：アフリカでライオンに出くわした男
「くわばら、くわばら」と手を合わせると、ライオンも手を合わせていた。
「おや？ライオンさんも怖いのですか？」
「いいえ、食前のお祈りをしているのだ」

2-2 笑いの分類 人生いろいろ 笑いもいろいろ



2-3 笑いのセンスとテクニック



笑わせる（笑われる）6つのテクニック

<p>1</p>	<p>言葉で遊ぶ 言葉のしゃれ、地口 語呂合わせ、駄洒落 なぞかけ、なぞなぞ</p> 	<p>(ダジャレ) いい若けえ者が<u>言いわけ</u>するのはいい訳ねえ (なぞなぞ) 表紙しかない本は？ それは売るか売らないか？ 【こたえ：占い（裏無い）の本 売らない】 四角四面は豆腐屋の子、マメ（豆）に働き、色は白くて水臭い、冷たい冷奴。</p>
<p>2</p>	<p>ナンセンスを楽しむ 真面目、常識をいたずらする（不真面目、非まじめ、非常識、超常識） 失敗談 屁理屈 パロディー</p> 	<p>「私には基礎体力はないが、クソ体力はあるよ」 「だから、へとも思わないんだ」「フ〜ン」 鏡を見つめていたHさんの奥さん、「ハァー」とため息をつきながら、「年をとるのって本当に嫌ね。シミは出るし、シワは増えるし、肌のハリはなくなるし、鏡を見るたびにウンザリ」 それを聞いていたHさん、「お前はいいよ。嫌になるのは鏡を見るときだけだからな。俺は、その顔をずっと見なくてはならないんだからな！」</p>
<p>3</p>	<p>意表をつく 逸脱、奇妙、意外 ユニークな言動 漫才のボケの茶化し</p> 	<p>買ってきたケーキを食べていて、一つ余ったので「お父さんにとっとく？」と母に聞いたら、「もったいないから食べちゃおう」と言った。次の日、賞味期限の切れたヨーグルトを見つけた母は、「勿体ないから、お父さんにとっとくわ」と言った。</p>
<p>4</p>	<p>類推する 擬人法、例える、比喩する 動物を人間に、その逆に人間を動物に例える</p> 	<p>犬を連れている女の人を見ますと、だいたい連れている犬と似ていることが多い。 「お連さんはチンですか？ブルドッグですか？」 「失礼ね！これはかわいいチワワですよ」 「いえ、私はそのチワワに聞いているんですよ」</p>
<p>5</p>	<p>ほのめかす 言い換え、皮肉、風刺、省略、ぼかし ブラックユーモア</p> 	<p>酔っ払い男がバスに乗り込んできて、横に座り「こんな不細工な女は初めてだよ」 「私もあなたみたいな失礼な酔っ払いは初めてよ」 「でも俺は明日には素面に戻ってるけどね・・・」</p>
<p>6</p>	<p>誇張する 針小棒大なはなし、大きいものを小さく矮小化する。 大袈裟な表現。ほら話 罪の無い嘘</p>	<p>大富豪が新しい邸宅にプールを3つも作った。 「一つは屋外の大きなプール。2つめは雨の日、寒い日でも泳げるように屋内の温水プール。3つめのプールは水を入れない」「はじめの2つはわかるけど、3つめはなんのため？」 「ぜんぜん泳げないお客さんのため・・・」</p>